

新型コロナウイルス感染症対策 ガイドラインについて

日本基督教団 諸教会・伝道所 各位
諸教区・関係学校・団体各位

2020年12月2日
日本基督教団 総会議長 石橋秀雄
総幹事 秋山 徹

アドベントの主の御名を賛美いたします。春先から拡大し始めた「新型コロナウイルス」(COVID-19)は、クリスマスを迎える時期に至っても、感染力を弱めることなく、さらに拡大しつつあります。特效薬(治療薬やワクチン)の開発も待たれるところではありますが、現時点で出来ることは、感染させない努力に尽きます。

改めて、日本基督教団として、「感染対策」のガイドラインを示します。参考にしていただくと共に、なお一層の対策を講じてくださるようお願いいたします。

在主。

1. 基本的な対処

① 「三密」(密閉 密集 密接)の回避を徹底する。

クラスター発生の多くは、三密の状況で起きています。礼拝をはじめとする教会・伝道所などの集いでは、三密が起り易い状況にあります。人と人との距離を保ち、長時間の閉じられた空間を作り出さないようにしてください。

② 消毒・手洗いの徹底

不特定多数の方が利用する場所(礼拝所や集会所)は、ウイルスが持ち込まれ易い環境にあります。外部からの来訪者には手洗いを推奨し、他者と共有する場所や個所の消毒を随時行ってください。

③ マスクの着用の義務

最近の研究では、感染リスクの60%は飛沫による感染といわれています。集會に参加する方々の接触を100%避けることは不可能です。マスクを着用することによって感染リスクを大幅に抑えられます。マスク着用をお願いを徹底してください。

④ 換気の徹底

空気中に漂ったウイルスは、頻繁に換気することによって拡散することができます。可能なかぎり窓や扉を開放してください。気候や環境などにより困難な場合でも、定期的に換気することを推奨します。

<参考データ>

エアゾル(空気中の微粒子)中でのウイルス生存時間は3時間、銅版表面では4時間、段ボール表面では24時間、ステンレス表面では48時間、プラスチック表面では72時間、というデータがあります。

2. 具体的な対応

① 礼拝など集会時での接触を避ける。

対人距離を1mは保つよう工夫してください。無理な場合でも、接触しないように間隔を空ける努力してください。多人数の集会となる場合は、人数制限や時間制限を設けて対処してください。

② 換気はこまめに定期的実施する。

これから厳しい寒さを迎えますが、施設内（室内）を密閉状態にして暖房することは感染リスクをかなり高めます。可能な限り、外気が流れるよう工夫してください。時間ごとに合図を鳴らしたり、礼拝次第の節目（讃美後など）を決めたり、外気導入に努めてください。窓や扉を終始開放状態にできるなら、そのようにしてください。

③ 発声の機会を抑制する。

礼拝をはじめとする集会では、声を出すこと（発声状況）は頻繁となりがちですが、飛沫感染のリスクは高まります。マスク着用を徹底すると共に、大きな声での会話は控えるよう案内してください。礼拝時の讃美歌合唱や主の祈りなど、大勢で発声する機会も、（讃美歌の節を減らすなど）出来る限り少なくしてください。

説教者と会衆席が近い場合は、講壇前へのアクリル板設置もお勧めです。

④ 手洗い・消毒を徹底する。

会堂などの施設は、不特定多数の方々が入り出る場所です。ウイルスが付着する可能性が高まります。およそ人が触れると思われる箇所（トイレなども含めて）の消毒を徹底してください。とくに、外部からの来訪者には、手洗いの実施と消毒の徹底に努めてください。

⑤ 会食を避ける。

会堂などでの会食は避けるようにしてください。どうしても食事などをする場合は、同じ食器による配膳は避けてください。無理な場合は必ず取り箸を使ってください。

⑥ オンライン活用の検討

礼拝や集会をオンラインで配信することも感染リスクを避ける方法ですが、準備や知識が必要です。教区によっては、オンライン設置への対応も行っています。

*詳細は各教区事務所へお尋ねください。

3. 行事への対応

① クリスマス礼拝、クリスマス・イブ礼拝は、一年でもっとも人が集まるときであり、不特定多数の人が会堂を出入りする機会が高まります。人数制限や時間制限を行うなど慎重に実施してください。大人数での会食などは避けてください。

② 葬儀・結婚式などの実施においても、人数制限や三密を避けるよう努めてください。

③ 聖礼典（聖餐式 洗礼式）の執行については様々な意見があると思いますが、感染リスクを避ける方法は、聖具や水・パン・ぶどう液の徹底した衛生管理です。準備する方はもちろん、受ける方も受ける前に手指の消毒などを推奨します。

*現在教団では、試験的に、「聖餐セット」（下図参照）の導入を検討しています。

関心のある教会・伝道所は、事務局までご一報ください。

④ その他

教会・伝道所でクラスター感染が発生した場合や関係者が感染した場合、必ず教区を通して教団へ連絡してください。誤った憶測を生じないためにも SNS などによ

る情報の拡散に配慮してください。原則的には保健所など行政指導が優先されます。
◇日本キリスト者医科連盟による「教会における新型コロナウイルス感染症対策ガイド」
(5/24) サイト

⇒<http://japan-cma.net/>

◇ 聖餐セット（台湾製：「約記社」）＊賞味期限は半年

